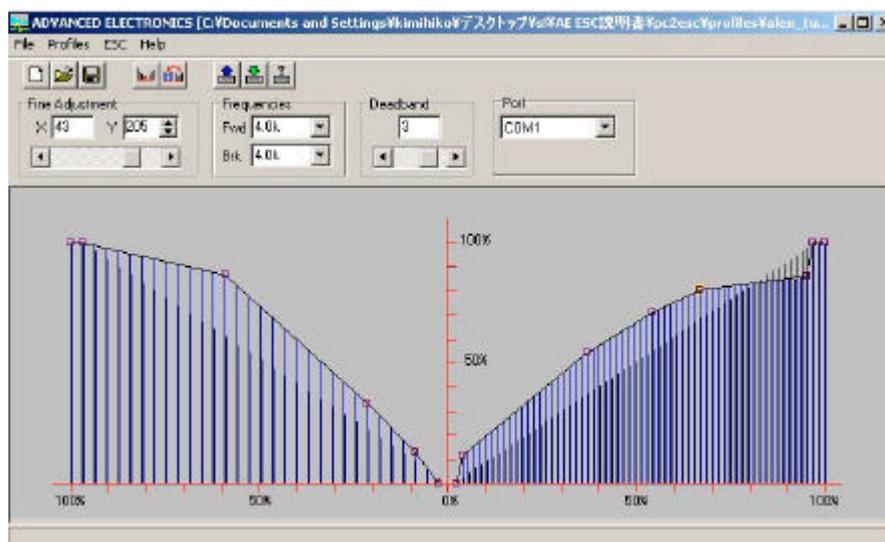


アドバンスド・エレクトロニクス ソフトウェア使用説明書 (Ver1.1J)

製品のお買い上げありがとうございます！この説明書はあなたに ESC スロットル・プロファイルをパソコンで編集できるソフトウェアの使い方について解説しています。



1. はじめに

このソフトウェアを使うと ESC のスロットルプロファイルを表示・編集してそれを ESC に保存することができます。この説明書をよく読み正しく製品をお使いください。

2. ソフトウェアについて

ソフトウェアは Windows パソコンで動作するアプリケーションです。メニューは英語で構成されていますが直感的に操作することができます。ソフトウェアを用いると次の機能を利用できます

- ESC とパソコンが正しく接続されているかテストすることができます 
- ESC 内のスロットル・プロファイルをパソコンにダウンロードできます 
- パソコンでスロットル・プロファイルを修正できます
- パソコン内のスロットル・プロファイルを ESC にアップロードできます 
- 複数のスロットル・プロファイルをパソコンに保存できます 
- 2つのスロットル・プロファイルを画面上で比較できます 

ソフトウェアによって修正できる項目は次のデータです。

- スwitching 周波数を変更することができます (1kHz ~ 16kHz)
- ニュートラル・エリアのデッドバンド (不感帯) の設定がおこなえます
- 前進側を 6/4、後進側を 3/2 分割し、それぞれニュートラルからフルスロットルの範囲でエクスポネンシャルを設定することができます
- ドラッグブレーキの設定をおこなうことができます

* ソフトウェアで取り扱うことができるスロットル・プロファイルはプロファイル番号 4 のデータだけです。番号 1 ~ 3 のデータを変更することはできません。

3. ソフトウェアのインストール

メーカーから配布されたファイル(ps2esc-j.zip)を Windows パソコン上で解凍します。インストーラーは付属しません。解凍するだけで必要なファイルがインストールされます。解凍されたファイルには下記のファイル・フォルダが含まれます(ファイル拡張子は表示されない場合があります)



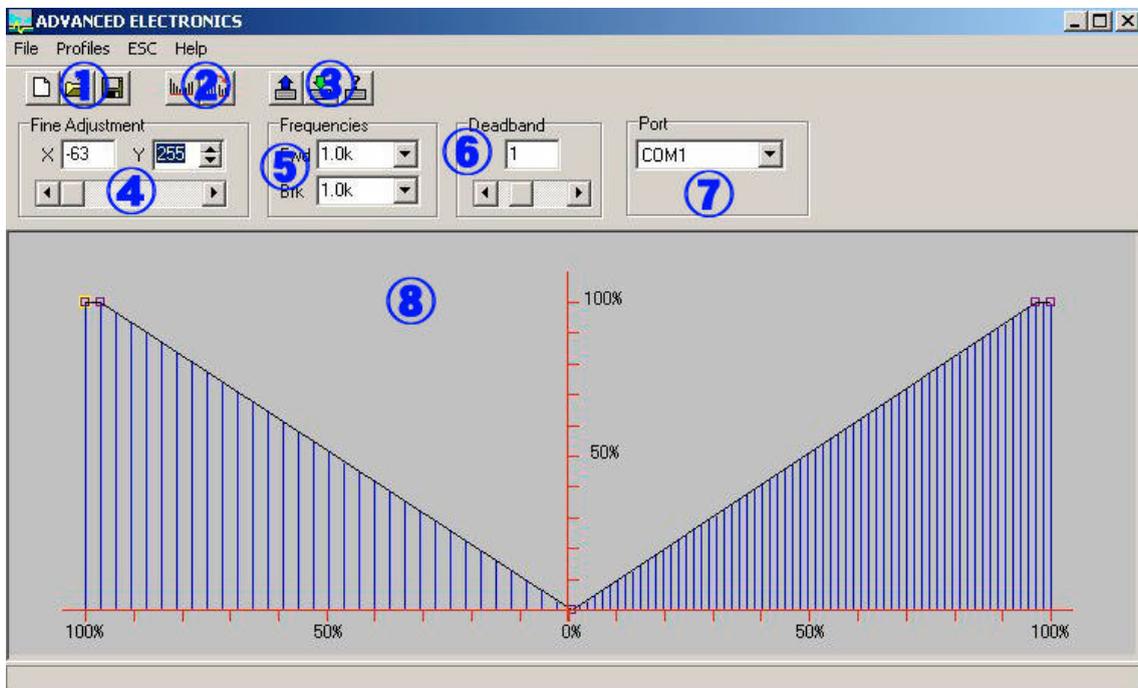
- PC2ESC.exe : ソフトウェアの本体(実行ファイル)
- Profiles フォルダ : サンプルのスロットルプロファイル
- PC2ESC.ace : データファイル
- USB2COM.exe : パソコンの USB ドライバ
- Adv-Sw-Inst-j.pdf : この説明書

4. ソフトウェア画面の構成

解凍された PC2ESC.exe のアイコンをダブルクリックします。



ソフトウェアが起動すると次の画面があらわれます。すべての操作はこの画面からおこないます。



画面要素の説明

プロフィールデータの新規作成 

パソコンに保存されたプロフィールを開く 

ソフトウェア上のプロフィールデータを上書き保存する 
(別名保存は File→Save as... メニューでおこないます)

バックグラウンド・データの表示 

フォアグラウンド・データとバックグラウンド・データの入れ替え 

ESC からデータをロードする 

ESC へデータを保存する 

ESC とパソコンの接続を確認する 

座標の移動。Xの値はグラフの横軸座標、Yの値はグラフの縦軸座標です。数値を変えることで任意スロット位置における出力量を変えることができます。同じ操作はマウスでグラフを直接編集することでもおこなえます。ただしニュートラルとハイエンドポイント(X=100)の出力量は編集できません。

スイッチング周波数の変更。メーカー推奨のスタートポイントは4kHzです。まずはこれでテストをおこなうようにしましょう。周波数を低くするとモーターのパンチが上がる傾向になります。逆に周波数を高くするとソフトな傾向になりESCの発熱が激しくなります。

周波数はお使いのモータ・ターン数に応じて調整しましょう メーカー推奨の調整範囲

19～27ターンモータ：1kHz～4kHz
モディファイドモータ：2kHz～6kHz

デッドバンドの設定。ニュートラル・スロットル付近の感度を設定します。デッドバンドを0に設定し、スロットルトリムを調整するとニュートラルブレーキを設けることもできます。推奨値は3ですが、実走行でテストすることをお勧めします

パソコンのCOMポートの設定。パソコンのCOMポート番号を選択します。

スロットル・プロフィールのグラフ。横軸0%を境に右側が前進サイド、左側が後進サイドの設定になります。前進側は64、後進側は32のステップがあります。各ステップで縦軸0～255の出力を設けることができます。縦軸0は無出力、255はフルスロットルを意味します。

5. ESC とパソコンの接続

ESC とパソコンを接続するには次のアイテムが必要になります

- USBポートを持つWindowsパソコン
- メーカー提供のUSBアダプター

5.1 パソコンにUSBドライバーをインストールします

USBCOM2.EXE をパソコンで実行し、ドライバーをインストールします。「インストー

ル完了」などのメッセージは表示されません。実行するだけで必要なファイルが自動的にインストールされます



USB2COM.exe

5.2 パソコンと ESC を接続します

1. ESC と走行用バッテリーを接続します。ESC のスイッチは OFF のままにしておきます
2. ESC の受信機コネクタとメーカー提供の USB アダプターを接続します
3. USB アダプターをパソコンの USB ポートと接続します
4. パソコンでソフトウェアを起動します
5. ソフトウェアの「Port」が ESC と接続された COM ポート番号になっているか確認します
6. ソフトウェアの  ボタンを押し、パソコンと ESC が正しく接続されているかテストします。テストに成功すると「ESC connected」と表示されます。問題があるときは「ESC not connected」と表示されます。

6. 製品使用上の注意

- ソフトウェアで取り扱うことのできるプロファイルはプロファイル番号 4 のデータだけです。ESC 内のプロファイル 1 ~ 3 のデータを読み込んだり、編集することはできません。
- パソコンと接続する前に ESC 側のプロファイルを 4 番に合わせる必要はありません。ソフトウェアはいつでもプロファイル 4 番のデータを取り扱います。プロファイル 4 番を使用する場合は ESC 側のスイッチで切り替えてください
- プロファイル 1 ~ 3 のデータはサンプルとしてソフトウェアがインストールされたフォルダ profile 内にあります。
- データを保存するときは  アイコンによる保存ではなく、File→Save as..メニューによる別名保存をお勧めします。  アイコンで保存するとデータが上書きされますのでご注意ください

この説明書の内容は kimihiko-yano.net の著作物です。いかなる場合でも全部、一部を問わず配布・複製・その他の商用利用を禁じます

kimihiko-yano.net

輸入・販売 kimihiko-yano.net

〒153-0051 東京都目黒区上目黒 1-18-3 シュービル 107 号

TEL/FAX 03-3716-3291

sales@kimihiko-yano.net

Copyright 2007 kimihiko-yano.net All Rights Reserved

www.kimihiko-yano.net